

天上湿原の山へ 平ヶ岳

実施日 2019年8月31日(土)～9月1日(日)

天候 薄曇り

リーダー 涌井 良明

参加者 涌井良明、白石恵美子、石附智江、中村友子、宇野輝代、宮崎敏男、G(浦野光昭) 計7名

費用 JR12,300円(東京起算)正規
レンタカー-5,450円 宿泊8,000円
送迎バス3,500円 合計29,250円

タイム 8/31 越後湯沢駅(12:15~30レンタカー)奥銀山平鷹ノ巣・清四郎小屋(15:15)泊

9/1 清四郎小屋(4:00)中ノ岐登山口(5:25~40)五葉松(6:26)玉子石分岐(8:15)玉子石(8:20~25)玉子石分岐(8:39)鞍部分岐(8:55)平ヶ岳三角点(9:15~20)最高点(9:25)三角点(9:30~9:55昼食)鞍部分岐(10:12)姫ノ池(10:20~25)白沢清水(10:16)1751P(11:45)台倉清水(12:00)台倉山(12:25~30)下台倉山(13:15)登山道入口(15:13)鷹ノ巣登山口(15:35)清四郎小屋(15:50~16:00レンタカー)越後湯沢駅(18:30~19:13)大宮(20:14)東京(20:40)

データ 距離18.6km・↑1,212m・↓1,330m・移動時間8h05・移動平均2.2km/h・行動時間10h11m

まずは鷹ノ巣の往復ルートじゃなくてヨカッタ！ 鷹ノ巣からなら今の自分では準備万端でビバーク必至？と感じた。

それにしても秘境とも思える辺境の山に、中ノ岐ルートがあるとは言え、多くの登山者が訪れるのには驚く。登山愛好者がいかに日本百名山ブランドの影響を受けてしまっているかを改めて感じた。かく、言う当方もその仲間なのだが、山名は恋ノ岐川遡行で行く山と聞いたのがはじめだったような気が・・・

ともかく当会で初の実施となった平ヶ岳が無事に歩けたのは嬉しくもあった。

8/31 明日から秋というこの日も蒸し暑く家から車で既に一汗かいてしまふ、山の前から汗臭が・・・ウッ！

越後湯沢駅集合後、レンタカーで小出から尾瀬・南会津を結ぶR352でシルバーラインを抜け、奥只見湖畔を尾瀬方面に走る。行き違いも難しい箇所も多い奥只見湖・只見川に沿ってくねくねとカーブを繰り返しながら鷹ノ巣の清四郎小屋に着いた。



さすがに都会の暑さは殆ど感じないで快適だが、買い物にもクルマで1時間半以上はかかるとのことだ。

主人手作り？の露天風呂と山菜メインの夕食で明日に備えて8時に就寝。

9/1 3時過ぎに起床、起き抜けで朝食のおにぎりをほおぼって、4時に登山口への送迎バスに乗る。

銀山平近くの雨池橋から一般車は通行出来ない中ノ岐川林道(18km)を進み、1時間半ほどで中ノ岐登山口に、既に先着のバスもあり朝食や出発準備で、どん詰まりの登山口が一時だが賑やかであった。百名山人気恐るべし！

三々五々それぞれのパーティに混じって我々もナガ～イ行程を歩き出す。

中ノ岐川を架設橋で渡って直ぐに急登が始まる。ポイントの五葉松、クロベノ大木など手作りの励まし？札を横目に上へ上へと高度を上げて、ようやく3時間程で湿原の木道に飛び出す。直ぐに玉子石分岐、5分ほどで写真でお



馴染みの奇岩の玉子石。背景に広がる美しい池塘群と相まってグッド景観のポイントである。

分岐まで戻って木道を山頂に向かう、右手にはのっぺりといかにもの平ヶ岳が

我々の到着を待っている。緩く下って池ノ岳分岐右へ山頂へ向かう、狭いテン場と水場を過ぎると鞍部の分岐、緩い登りを行くと視界が開け、山頂部が近づく。



木道から僅かに奥まった地点に三角点と山頂の標柱が静かに佇んでいた。

そこから数分で立入できる

最高点まで行く、木道の終端に通行止の杭があり、その先には今は歩かれない踏跡が伸びていた。三角点で時間はまだ朝だが昼食を摂って、行程の核心になる下山にかかる。

鞍部分岐から少し登り返すと池ノ岳(姫ノ池)だ、振り返る景色が最高の絶景だ！池・池塘・湿原を前景に平ヶ岳の姿が素晴らしい、しばし見とれてしまう。



これから始まる激下り前のごほうびだった。鷹ノ巣9.4kmとある標柱から下山開始、少し進む

とこれからの下山ルートが一気に開けてくる、急傾斜でおまけに長大な行程が見渡せるが、尾根の末端にあるはずの下山終了点が見通せないほどである。ヤバーイ！、脚と腰が持つか・・・？(-_-;))



とは言っても歩かない訳にはいかないので、よーし下るよー！

いきなりの急傾斜を慎重に下り、緩くなると木道を挟

みながら単調な下りが続いていく。白沢清水を過ぎて台倉清水付近と台倉山、下

台倉山と一息いれながら下り続けるが、最近のトレーニング不足もあって下りが脚に堪えて辛い下りになっている。当然ピッチも快調とはいかず、やっとこさっと歩いている感じなんだが他のメンバーは快調なのか？



下台倉山からは、急傾斜もあり、ロープの岩場や多少のコブもある

左右が痩せたザレや岩混じりのトレースを辿る道で、疲れた脚に更に慎重さを求められる道だ。それでも前坂の岩場やリッジ状の痩せ道を過ぎ、徐々に傾斜が治まってくると樹林となって、登山道入口に着く。やれやれ、山道もここで終わって林道になる、

下台倉沢で火照った顔を洗ってR352鷹ノ巣入口に、更に1kmで清四郎小屋に戻って歩きは完了になった。山頂から実に6時間を要した下山となった。

ツカレター！！
小屋のご夫婦に見送られて、帰路へ。小出からはE17で越後湯沢へ、江神温泉でサッパリして、ビール抱えて始発の🚶でゆったり帰宅路に付いた。



高齢者集団となってしまった当会もまだまだ、こんなに歩く山行が出来ることが嬉しくもあるが、自分の山での限界値が徐々にしかも確実に低くなってきていることも自覚させられるが、これも仕方ないことなのだろう。

参加いただいた皆さんとこれからも出来る限りは、山・自然に親しみことを続けて行きたいですね。

皆さんありがとう&お疲れ様でした。

(記&写真・涌井 良明)